

第3回水と緑の森づくり会議 (H31.3.8) 意見概要

(1) 平成30年度水と緑の森づくり事業の実績見込みについて

○伊藤委員

- ・広報事業の一環でイベント用に4K動画を製作されたということであるが、イベントだけでなく、フェイスブックなどでも流すなど上手く活用して広く見てもらえるとよい。

○山中委員

- ・動画の中に子供たちが木を倒すところがあったが、子供たちがやっていると身近に感じることができ、自分たちでも参加できると身近に感じてもらえると思う。今後も広報活動を含め、積極的に事業に取り組んでもらいたい。

(2) 平成31年度みーもの森づくり事業の採択に係る審査について

○日笠委員

- ・同一団体が複数の提案をしているものがあり気になった。
- ・法人の申請で、法人が所有する敷地を整備するという提案があったが、森づくりと言えるのか疑問に思った。
- ・竹林伐採に関する申請が多く、みなさん困っておられると感じた。中には堆肥づくりをされている申請があったが、申請者相互で堆肥づくりのノウハウが共有できたたら良いと思った。
- ・みーもスクール事業に関しては、申請団体が複数あるが、申請団体が相互に連携できたらより良い事業ができるのではないかと思った。

○荒木委員

- ・作業のほとんどを委託に出している申請があった。現場の状況がわからないので一概には言えないが、県民に森づくりの活動に参加してもらおうという事業趣旨から考えるとどうかと感じた。

○長谷田委員

- ・侵入竹林の処理に関する申請があったが、侵入竹林は処理しても周りに竹があれば戻ってしまうため、竹林を囲う必要がある。囲うにはかなり費用がかかるが、せっかくやるならきちっと処理できるとよい。そのためには、竹林に限っては交付額を見直すなどしてもよいのでは。

○伊藤委員

- ・目標値がコストに対してどうかという点で評価を行った。
- ・募集にあたって、提案者向けに説明会を開催してはどうか。提案者に事業の趣旨をきちっと理解してもらった上で、審査のポイントや提案書の記載方法など、最初の段階の理解を促進するというのも大事ではないか。

○吉川委員

- ・より多くの人を巻き込みながら活動を行っているかという点で評価を行った。みーもの森づくり事業は県民の方に参加してもらうことが大事である。
- ・作業の委託は、危険が伴う作業もあるので委託でやらざるを得ない部分はあると思うが、下刈りや、木を運ぶなど自らができることは行うという活動をしてほしいと思った。

○川上委員

- ・どの提案も知恵を絞られた良い提案ですばらしい。
- ・提案数に地域間の差があるように感じるので、県の各事務所もPRに努めてほしい。
- ・実際に採択されて行われた後の植栽の管理、継続したつながりとなるのかそこが重要となってくる。地域で考えてもらえるようフォロー体制の検討もして行ってほしい。

○山中委員

- ・同一団体が複数の提案をしており、内容は評価するが、件数や上限額について検討が必要ではないか。これだけ多くの提案があがってきている中で、もう少し公平性を考えるべきでは。